



第41回 JSiSE 全国大会のご案内

テーマ： 21 世紀型スキルを支える教育システムの展開

ウェブサイト： <http://www.jsise.org/taikai/2016/>

facebook ページ： <https://www.facebook.com/jsise.org/>

twitter ハッシュタグ： #jsise2016

- 開催日時： 2016 年 8 月 29 日（月） ～ 8 月 31 日（水）
- 会 場： 帝京大学 宇都宮キャンパス（〒320-8551 栃木県宇都宮市豊郷台 1-1）
- 主 催： 一般社団法人教育システム情報学会

■ 大会日程（予定）

8 月 29 日（月）	
9:00～11:50	プレカンファレンス
13:00～15:10	開催校挨拶・表彰・基調講演・企業セッション
15:25～18:00	一般セッション（口頭発表およびインタラクティブ発表），企画セッション
8 月 30 日（火）	
9:00～11:50	一般セッション（口頭発表のみ），企画セッション
13:00～14:30	大会企画（高大接続システム：パネルセッション）
14:50～17:30	一般セッション（口頭発表およびインタラクティブ発表），企画セッション， 学生研究特別セッション（インタラクティブ発表）
18:00～20:00	懇親会
8 月 31 日（水）	
9:00～11:50	一般セッション（口頭発表のみ），企画セッション
12:50～15:00	現地校挨拶 特別招待講演（安西祐一郎先生（独立行政法人日本学術振興会理事長））
15:10～17:30	公開シンポジウム，クロージングセッション・大会奨励賞表彰

(*) 大会日程は変更の可能性があります。

■ 投稿・参加申込のスケジュール

投稿締め切りの後に，参加申し込みが開始されます。発表者には，参加申し込み開始時にメールでご連絡いたします。

- 2016 年 8 月 2 日（火） [発表者以外] 参加申込締切（郵便振替・コンビニ決済）
- 2016 年 8 月 10 日（水） [発表者以外] 参加申込締切（クレジットカード）

■ 交通アクセスについて

お車での来場も可能です。東北自動車道「宇都宮 I.C.」より車で 10 分程度です。お車でお越しの際は、学生駐車場にご駐車ください。

■ 大会参加費

事前申込	当日申込
一般会員：7,560 円 学生会員：3,240 円 非会員（学生以外）：10,800 円 非会員（学生）：5,400 円 論文掲載料：1,000 円（論文一篇につき）	一般会員：8,500 円 学生会員：4,000 円 非会員（学生以外）：12,000 円 非会員（学生）：6,500 円
全国大会当日、またはそれ以前に入会手続きを行われる場合は、会員料金でお申し込みいただけます。	
[懇親会費] 一般：5,000 円 学生：2,000 円	[懇親会費] 一般：6,000 円 学生：2,000 円

参加費等はいずれも税込みです。支払いの詳細は、大会 Web サイトをご覧ください。

プレカンファレンス、特別招待講演、および公開シンポジウムの参加は自由です。これらのみに参加する場合は、大会への参加申し込みは不要です。

■ プログラム

プログラムは変更の可能性があります。最新の状況は大会 Web サイトに掲載いたします。

○ 基調講演（8 月 29 日（月） 13:30～14:10）

「ビッグデータ・人工知能・メタ認知」

仲林清（教育システム情報学会 会長、千葉工業大学 情報科学部 教授）

○ JSiSE・帝京大学共催 FDSD 公開シンポジウム（8 月 31 日（水） 13:00～15:00, 15:10～17:10）

➤ 特別講演（13:00～15:00）

「教育改革の展望と ICT の活用」

安西祐一郎（独立行政法人日本学術振興会理事長、慶應義塾学事顧問）

➤ 講演と事例紹介（15:10～17:10）

✧ 基調講演

「大学での課題解決型科目の導入と位置づけ

ー河合塾「大学のアクティブラーニング調査」での結果を交えてー」

野吾 教行（学校法人河合塾 教育イノベーション本部 教育研究部）

✧ 事例紹介・討論

「汎用的能力育成のための課題解決型授業のあり方」

オーガナイザ：渡辺博芳（帝京大学）

プレゼンター：金田徹（関東学院大学）、飯田泰広（神奈川工科大学）、

桑野文洋（日本工業大学）、望月雅光（創価大学）

- プレカンファレンス（8月29日（月） 9:00～11:50）
 - 1. eラーニングの現代的課題
 - 2. LIGP（Learning Innovation Grand Prix）2016 総括と産学連携の仕組みづくり
 - 3. 初等教育におけるプログラミング教育
 - 4. 反転授業の効果と課題
 - ー帝京大学宇都宮キャンパスアクティブラーニング推進 WG の活動からー
 - 5. 反転が生み出す論文執筆のブレークスルー
 - ーディスカッションベースの論文投稿ファシリテーションー

- 企画セッション（8月29日（月） 14:00～15:00, 8月30日（火） 9:00～10:20, 10:30～11:50, 16:10～17:30, 8月31日（水） 9:00～10:20, 10:30～11:50）・・・（57件）
 - 1. ラーニング・アナリティクス（LA）の先進事例と課題（8件）
 - 2. 大学間連携に基づく新しい教育・学習環境（3件）
 - 3. 身体知・経験知に関わる学習支援技術（11件）
 - 4. 新技術による次世代教育・学習環境と教授設計（7件）
 - 5. 初等中等教育におけるプログラミング教育（4件）
 - 6. 安心・安全な社会に貢献する教育システム（6件）
 - 7. 小型ハードウェアと電子工作による教育システム・ツールの開発（10件）
 - 8. 医療・看護・福祉領域における ICT 活用教育（8件）

- 懇親会
 - 帝京大学宇都宮キャンパス食堂にて開催

学生特別セッション・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ (7 件)

一般セッション (インタラクティブ発表)・・・・・・・・・・・・ (48 件)

一般セッション (口頭発表)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ (111 件)

- | | |
|--|------------------------------|
| 1. アクティブラーニング (4 件) | 11. 初等中等教育 (4 件) |
| 2. 医療・看護・福祉教育 (4 件) | 12. スキル学習 (4 件) |
| 3. インフラストラクチャ／コンテンツ作成支援／プラットフォーム開発 (4 件) | 13. 先進的学習支援 (9 件) |
| 4. 学習者特性・行動分析 (3 件) | 14. デバイス活用/ソーシャルメディア活用 (4 件) |
| 5. 学習者特性・行動分析／学習評価・アセスメント (4 件) | 15. 特別支援教育 (8 件) |
| 6. 教科教育/語学学習 (4 件) | 16. プラットフォーム活用 (7 件) |
| 7. 協調学習 (4 件) | 17. ブレンディッド学習 (3 件) |
| 8. 高等教育 (4 件) | 18. 分析技術/モデリング技術 (3 件) |
| 9. 授業設計・インストラクショナルデザイン (7 件) | 19. プログラミング教育 (8 件) |
| 10. 情報リテラシー (4 件) | 20. プログラミング教育/情報技術教育 (4 件) |
| | 21. マルチメディア活用 (4 件) |
| | 22. ユーザインタフェース (4 件) |
| | 23. 連携型教育/アクティブラーニング (7 件) |

■ インターネット接続について

学会期間中に、帝京大学の無線 LAN サービスを提供予定です。利用希望者には、無線 LAN の受付において利用申請書を記入の上、ID・パスワードが記載された用紙を配布する予定です。

■ 講演論文集について

第 37 回大会より講演論文集の印刷を廃止し、CD-ROM、および Web による配布としております。Web 版の講演論文集は、8 月 23 日 (火) に大会参加者のみに公開され、2017 年 3 月 1 日 (水) に一般公開されます。

■ 緊急連絡先

「発表セッションに間に合わない」等の緊急事態発生時には、下記へご連絡ください。大会受付の担当者が応対いたします。

電話番号：080-3822-4968

受付日時：8/28 (日) ～8/31 (水) の 8:00～18:00

■ 大会事務局

〒162-0801 東京都新宿区山吹町 358-5 アカデミーセンター

一般社団法人 教育システム情報学会 全国大会委員会

E-mail：jsise-desk@bunken.co.jp



研究会報告の電子化のお知らせと年間購読の申込みについて

研究会の研究報告が、2016 年度から電子化されることになりました！

研究報告は、現在 30 巻を数え、これまで教育システム情報学に関して毎年 150 件程度の研究成果(2013 年度 155 件、2014 年度 139 件の発表論文)を掲載し、大変多くの皆様にご購読いただいております。

印刷媒体での研究報告では、研究会当日の閲覧のために持ち運びが必要であったり、保管や管理等が煩雑であったかと思いますが、このたびの電子化によって、オンライン上で研究成果のタイムリーかつオンデマンドな閲覧が可能となり、さらに保管などの手間もなく、益々便利に活用できるようになります。

つきましては、研究会報告の「年間購読」のお申し込みをご検討いただければ幸いです。研究会当日も電子媒体として販売する予定ですが、年間購読がお得となっております。

- 年間購読：4,000 円（定例研究会年 6 回，特集研究会 1 回，計 7 回分を含む）
- 当日販売：1 冊 1,000 円

新規での「年間購読」申込みにつきましては、年会費をお支払いいただく前に会員種別変更申込をお願いします。以下の手順でお申し込みください。

すでに年間購読をしていた方は手続き不要です。自動的に研究報告の電子化に移行させていただきます。

- 1) 年会費納入手続きの前に、下記フォームにて事務局（secretariat@jsise.org）まで年間購読申込をしてください。

=====

※研究報告年間購読希望
会員番号（お分かりであれば）：
お名前：
所属：
連絡先 e メールアドレス：
=====

- 2) 手続き終了後、事務局より会員種別変更完了のご連絡を差し上げます。
- 3) マイページから年会費と合わせて年間購読費をお支払いください。

※年会費納入後に「年間購読」を申込みご希望の場合は、事務局（secretariat@jsise.org）までご連絡ください。年間購読の請求書をお送りし、会員種別変更の手続きを進めさせていただきます。



2016 年度 研究会開催スケジュール

第3回研究会（担当：小西達裕，林 敏浩，安間文彦）
◆ テーマ：ICT を利活用した高等教育機関の教育連携／一般 ◆ 日 程：10月1日（土） ◆ 場 所：香川大学 幸町キャンパス
第4回研究会（担当：小尻智子，曾我真人，長谷川忍，柏原昭博）
◆ テーマ：身体知・経験知に関わる学習支援／一般 ◆ 日 程：11月12日（土） ◆ 場 所：和歌山大学
第5回研究会（担当：光原弘幸，佐々木整，三石 大）
◆ テーマ：新技術による教育・学習環境の構築と教授設計／一般 ◆ 日 程：1月7日（土） ◆ 場 所：愛媛大学
第6回研究会（担当：西野和典，鷹岡亮，浅羽修丈，西端律子）
◆ テーマ：ICT を活用したアクティブ・ラーニング／新教育課程／一般 ◆ 日 程：3月18日（土） ◆ 場 所：北九州市立大学 ※ 特集研究会と同時開催



2016 年度第 3 回研究会 開催案内

■テーマ：「ICT を利活用した高等教育機関の教育連携／一般」

※今回は設定テーマでの発表申込がございましたので一般発表のみとなります。

■開催日時：2016 年 10 月 1 日（土）午後（予定）

■会場：香川大学幸町キャンパス研究交流棟研究者交流スペース（香川県高松市）

幸町キャンパスへのアクセス：<http://www.kagawa-u.ac.jp/access/saiwai/>

■担当：林敏浩（香川大学）、小西達裕（静岡大学）、安間文彦（サイバー大学）

■概要説明：

本年度第 3 回研究会は「ICT を利活用した高等教育機関の教育連携／一般」のテーマで発表募集をいたしましたが、残念ながら設定テーマでの発表エントリがございました。このため、今回は一般発表のみによる研究会となります。

「ICT を利活用した高等教育機関の教育連携」のテーマを期待されていた方には申し訳ございませんがご了承くださいますようお願いいたします。

■懇親会：研究会終了後、懇親会を開催する予定です。会費は 4000～5000 円の予定です。

■お問い合わせ先：香川大学総合情報センター 林敏浩 E-mail: hayashi@eng.kagawa-u.ac.jp



2016 年度第 2 回研究会 開催報告

■テーマ：ICT を活用した学習支援と教育の質保証/一般

■開催日時：2016 年 7 月 9 日（土） 9:00-17:35

■会場：千歳科学技術大学（北海道千歳市）

■担当：不破泰（信州大），小松川浩（千歳科技大），布施泉（北大），金子大輔（北星学園大），
野崎浩成（愛教大）

■会場担当：山川広人（千歳科技大），石田雪也（千歳科技大）

■概要：

2016 年度の第 2 回研究会は，7 月 9 日（土），千歳科学技術大学（北海道千歳市）にて「ICT を活用した学習支援と教育の質保証/一般」というテーマで開催されました。

具体的には，著作権教育や知的財産保護，Moodle の活用や e ポートフォリオ，海外での情報教育の現状，IRT の教育利用，プログラミング学習，動機づけや学習者の行動分析など，ICT を活用した学習支援のみならず，その教育的評価を行うことで，教育の質保証を図っていくというスタンスで，大変多くの研究発表がなされました。大学（教員や学生）・高専・企業など様々な立場の発表者が登壇し，発表後の質疑でも活発な議論が行われました。最終的には，研究発表 20 件，参加者数はおおよそ 50 名でした。地元北海道からはもちろんのこと，本州・四国・九州，全国各地からご参加頂きました。研究会終了後の懇親会でも学術的な交流を深めることができました。爽やかで過ごしやす北の大地で，夏の厳しい暑さを忘れ，研究会ではとても有意義な時間を過ごすことができました。



反転授業ならびにビデオ教材作成に関する研究会 開催案内
(関西支部主催)

■開催日時：平成 28 年 8 月 27 日（土）13:30-（13 時受付開始）

■会場：近畿大学 38 号館多目的教室

■受付：<http://kokucheese.com/event/index/413910/>

■対象：小・中・高の先生方から大学の教員まで、もちろん、興味のある一般の方も OK です。

※ 教育システム情報学会関西支部主催ですが、会員・非会員を問わずどなたでも参加可能です。

■内容：

ICT に関連するインフラや機器の普及で、反転授業やアクティブラーニングが注目されていますが、本研究会では経験豊富な先生方をお呼びし、反転授業に関する実践発表やビデオ教材作成に関するノウハウ発表について発表ならびに意見交換を行えればと考えています。

<スケジュール予定>

13:00 受付開始

13:30 開会，JSiSE 関西支部について

14:40～ 反転授業に関する実践発表セッション

15:30 頃～ ビデオ教材作成に関するノウハウ紹介セッション

【反転授業に関する実践発表セッション】

1. 反転授業×協働学習で変わる数学の学び・・・ 芝池宗克先生（近畿大付属高）
2. iPad で実現するオーガニックラーニング・・・ 江藤由布先生（近畿大付属高）
3. 受講者中心の教室運営のための ICT・・・ 木村隆良先生（近畿大）

【ビデオ教材作成に関するノウハウセッション】

4. ムービーメーカーで作るかんたん動画教材・・・ 岩井憲一先生（滋賀大）
5. Microsoft Office mix でラクラクビデオ教材作成・・・ 越智洋司先生（近畿大）
6. Microsoft Office mix を用いた実践活用のアイデア・・・ 小川修史先生（兵庫教育大）

前半のセッションでは、反転授業に関する実践事例をテーマにしており、反転授業の実践校として有名な近畿大学付属高校より、2 名の先生をお呼びしました。後半のセッションでは、反転授業を実践する上で必要となるビデオ教材作成の方法について、本研究会の企画に関わっている関西支部役員関係者 3 名による技術的なチュートリアルを行います。ビデオ教材作成って特別なソフトとか必要だし、難しいんじゃないの？」と思われる方は必見です。詳細は関西支部ページを参照のこと

<http://www.jsise.org/~kansai/events.html>

問い合わせ：近畿大学 越智 (ochi@kindai.ac.jp) まで

北 信 越 支 部 よ り 活 動 報 告

北信越支部では、広く教育工学、教育システム情報学を研究する学生・若手研究者の自己研鑽を支援するため、【成果発表を磨く】というワークショップを開催してまいりました。内容は、論文執筆を目標とした研究のまとめかたに関する講演とともに、学位取得を目指す博士生や論文投稿を目指している修士生による研究発表と、論文執筆と目標とした議論を行います。過去の2回のワークショップの様子は、北信越支部の Web サイトや Facebook にてご覧いただけます。

いままでは、北信越支部を対象としておりましたが、今年度より、全地区の学生会員もしくは、会員の皆様が指導されていらっしゃる学生を対象としたワークショップへと拡大いたします。

本年度は

2017 年 3 月 3 日（金） 信州大学教育学部（長野県長野市）

で開催を予定しております。

このワークショップは、北信越支部学生研究発表会との併催となっており、学生研究発表会の発表募集とあわせて募集いたします。

詳細は、北信越支部 Web サイトまたはメーリングリストを通じてご案内いたします。

「成果発表を磨く」実践的な機会です。聴講のみならず、登壇もご検討ください。

北信越支部 Web サイト：<http://www.jsise.org/hse/>

北信越支部 Facebook：<https://www.facebook.com/jsisehse/>

関西支部より活動報告

2016年度 関西支部 第1回 若手研究者フォーラム 「英語プレゼンテーションの基礎を学ぶ」開催報告

- 開催日：2016年5月5日（木祝）13:30 – 17:30
- 会場：大阪教育大学 天王寺キャンパス
- 講師：ジョン・オージェリ氏（パリデジタル大学（UNPIdF））
- テーマ：「スライドショーをより良くする改善手法」
- 担当：尾崎拓郎，松田憲幸，村上正行，瀬田和久
- 会場担当：尾崎拓郎（大阪教育大学）

■概要

2016年5月5日に、大阪教育大学天王寺キャンパスにおいて関西支部第1回若手研究者フォーラムを開催しました。フランスから John Augeri 氏（パリデジタル大学）を講師としてお招きし、より効果的なスライド資料の作成方法を講義いただき、その後、グループで資料を作成、プレゼンテーションの実践ワークショップを行いました。

本ワークショップは、講師の Augeri 氏が英語での講演であること、また、英語のプレゼンテーション改善ということもあり、原則、英語でのスライド、英語でのスピーチで行いました。

スライド制作における基本的な概要から、効果的なプレゼンテーションスライドにするためのテキストの量と質などの記述方法、イメージやアニメーションの利用方法について講演を頂いた後に、後半は講演から得た知識をもとに実際にスライド作成に望みました。（なかでも、slide+document=slideumentのようなスライドを作るのは簡単だが、伝えたい事は伝わらない、という説明は誰もが納得するメッセージだったと感じております。）

参加者は、英語を利用してスライドを作成・発表することに躊躇しつつも、積極的にチャレンジし、最後の発表会では伝えたい事を確実に伝える良い実践を達成することができました。

当日は、学部生・大学院生・大学教職員あわせて20名にご参加いただきました。



2016 年度 関西支部 第 2 回 若手研究者フォーラム
「アメリカにおける学習科学の研究動向と作法」 開催報告

- 開催日：2016 年 7 月 12 日（火）16:15 – 17:45
- 会場：大阪府立大学なかもずキャンパス
- 講師：松田昇（テキサス A&M 大学）
- テーマ：「アメリカにおける学習科学の研究動向と作法」
- 担当：尾崎拓郎，松田憲幸，村上正行，瀬田和久
- 会場担当：瀬田和久（大阪府立大学）

■概要

2016 年 7 月 12 日に、大阪府立大学において関西支部第 2 回若手研究者フォーラムを開催しました。大阪府立大学の招聘事業によりお招きしている松田昇先生（テキサス A&M 大学）に、「アメリカにおける学習科学の研究動向と作法」と題した講演をして頂きました。

松田先生は、ピッツバーグ大学、カーネギーメロン大学等で長年に渡り、人工知能技術の教育応用の研究・実践に取り組まれています。今回の講演では、特に若手研究者・学生へ向けた内容として、先生が渡米された当時のエピソードや、ハーバード・サイモン教授の最後の聴講生として講義を受けられた際に、サイモン教授が残したメッセージなども交えながら、米国での経験、研究概要をご紹介頂きました。特に、リサーチクエスト（例、**Learning by Teaching** による学習はおこるのか？など）とエビデンスベースの実証的研究（**in Vivo Experiment**）の大切さを説かれ、その意義を明快にお示し頂きました。そして、最後に先生のご経験を踏まえた留学の勧めとして、留学先の選び方、返事がもらえるメールの書き方、アピールの仕方、そして異国の地に根をはり研究し続けていくための実践的方法をご紹介頂きました。

講演会参加者は 37 名、講演会終了後は、AI や教育システム情報学分野の研究者、学生さんら 16 名と語らいの場を持ちました。



2016 年度 関西支部 第 3 回 若手研究者フォーラム
「人工知能が教育を変える：学習科学の先端的動向」開催報告

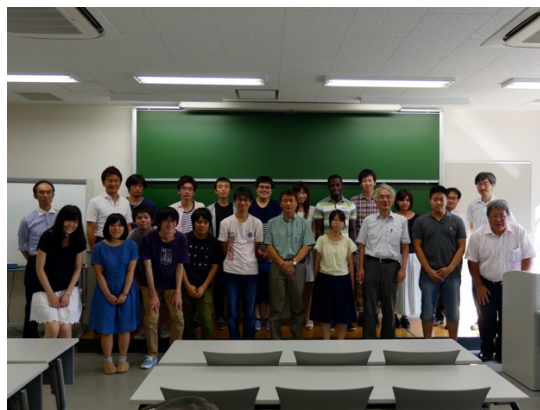
- 日時：2016 年 7 月 19 日（火）14:35-16:05
- 会場：大阪府立大学なかもずキャンパス
- 講師：松田昇（テキサス A&M 大学）
- テーマ：「人工知能が教育を変える：学習科学の先端的動向」
- 担当：尾崎拓郎，松田憲幸，村上正行，瀬田和久
- 会場担当：瀬田和久（大阪府立大学）

■概要

2016 年 7 月 19 日に、大阪府立大学において関西支部第 3 回若手研究者フォーラムを開催しました。第 2 回に引き続き、第 3 回も大阪府立大学の招聘事業によりお招きしている松田昇先生（テキサス A&M 大学）に、「人工知能が教育を変える：学習科学の先端的動向」と題した講演をお願いいたしました。

今回の講演では、人工知能技術、特に機械学習技術の詳細と EDM（Educational Data Mining）の適用事例を掘り下げ、先生の代表的研究の 1 つである SimStudent の内側（線形代数をドメインとした問題空間の表現手法とこれに基づくオペレータの適用条件学習）についての専門的なお話しと、その認知的忠実性（Cognitive Fidelity）の評価手法に関するお話しをして頂きました。

講演会参加者（33 名）からも活発な質疑がなされ、AI と学習科学の先端の知見に触れることができた刺激的な時間でした。





Facebook ページもご覧ください

教育システム情報学会では Facebook ページを運用しています。本ページでは、

- ・論文・発表募集
- ・本学会に関連するイベントの情報

などを、いち早くお届けします。ぜひ、ご覧下さい。

Facebook ユーザの方は、ぜひ、「いいね」をお願いいたします。

◇ 2016 年 3 月 28 日現在,いいね 197 件

<https://www.facebook.com/jsise.org/>

facebook アカウント登録

メールアドレスまたは携帯番号 パスワード

ログイン

ログインしたままにする パスワードを忘れた場合はこちら

Facebookページを作成

最近

2015年

2014年

1974年

教育システム情報学会
さんはFacebookを利用しています。
Facebookに登録して、教育システム情報学会さんや他の友達と交流を深めましょう。

アカウント登録 ログイン

Japanese Society for Information and Systems in Education

JSiSE
一般社団法人
教育システム情報学会

教育システム情報学会
団体

タイムライン 基本データ 写真 いいね! 動画

ユーザー

いいね! 175件

情報

東京都新宿区
山吹町1358-5 アカデミーセンター

JSiSE 教育システム情報学会
15時間前

2016年度 全国大会 企画セッション テーマ募集のご案内
教育システム情報学会 全国大会委員会
委員長 小松川 浩... もっと見る

藤岡 直さん, Masaru Okamotoさん, 鎌谷 隆弘さん, 他7人が「いいね」

人気のコメント

他団体 協賛・後援のお知らせ

協賛 「平成 28 年度工学教育研究講演会」

日時：2016 年 9 月 5 日（月）～7 日（水）

会場：大阪大学大学院工学研究科（吹田キャンパス）

協賛 「ヒューマンインタフェースシンポジウム 2016」

日時：2016 年 9 月 6 日（火）～9 日（金）

会場：東京農工大学 小金井キャンパス

後援 「第 18 回日本感性工学会大会」

日時：2016 年 9 月 9 日（金）～11 日（日）

会場：日本女子大学 目白キャンパス

協賛 「KoreaJapan First Joint Workshop on Learning Analytics and Prospect for Standardization (LEAPS)」

日時：2016 年 9 月 20 日（火）

会場：韓国 COEX

後援 「全国高等専門学校第 27 回プログラミングコンテスト」

日時：2016 年 10 月 8 日（土）～9 日（日）

会場：伊勢市観光文化会館

協賛 「e ラーニングアワード 2016 フォーラム」

日時：2016 年 10 月 26 日（水）～28 日（金）

会場：ソラシティ カンファレンスセンター



会費納入のお願い

2016 年度年会費納入についてのお願いです。学会の活動は皆様の会費で支えられていますので、ご協力のほどどうぞよろしくお願いいたします。

- 「クレジット決済」、「コンビニ決済」をご希望の方は、下記のマイページよりお手続きをお願いいたします。

URL <https://bunken.org/jsise/mypage/Login>

※会員専用ページの URL は、会員情報管理システムの業務委託
をしております、株式会社国際文献社のものになります。

- 「銀行振込」をご希望の方は、下記のいずれかの口座へお振込みをお願いいたします。

■振込先

◆ゆうちょ銀行

口座記号番号：00180-6-709632

加入者名：一般社団法人教育システム情報学会

フリガナ： シャ) キョウイクシステムジョウホウガッカイ

※他金融機関からゆうちょ銀行に振込む場合

銀行名：ゆうちょ銀行（金融機関コード：9900）

店名：〇一九 店（ゼロイチキョウ店） 預金種別：当座 口座番号：0709632

名義：一般社団法人教育システム情報学会

フリガナ： シャ) キョウイクシステムジョウホウガッカイ

◆三菱東京 UFJ 銀行（金融機関コード：0005）

店名：上新庄支店（カミシンジョウ支店）

預金種別：普通 口座番号：0142708

名義：一般社団法人教育システム情報学会

フリガナ： シャ) キョウイクシステムジョウホウガッカイ

◆みずほ銀行（金融機関コード：0001）

店名：茨木 支店（イバラキ支店）

預金種別：普通 口座番号：1399483

名義：一般社団法人教育システム情報学会

フリガナ： シャ) キョウイクシステムジョウホウガッカイ

- 請求書・領収書（支払い後）は、マイページでオンライン発行できます。
- 請求書・領収書の郵送をご希望の方は、事務局（secretariat@jsise.org）までご連絡ください。

※団体名でお振込みいただきますと、個人を特定できない場合がございますので、振込名に会員番号またはお名前をご入力いただくか、難しい場合は、振込内容を事務局までご連絡いただければ幸いです。

【2015 年度あるいはそれ以前の会費を支払われていない方】

マイページでは、すべての会費が合算された金額が請求されます。先に 2015 年度分のみのお支払いを希望される方は、先に郵送された払込用紙付請求書をご利用になるか、学会事務局（secretariat@jsise.org）までご連絡下さい。

※会費のお支払いが確認できない場合、学会からの送付物を停止させていただく場合があります。また、定款の定めに従って除名手続きを進めさせていただく場合があります。

ご不明な点は、事務局（secretariat@jsise.org）までお問合せ下さい。

〒162-0801 東京都新宿区山吹町 358-5 アカデミーセンター
Tel:03-5937-5816 Fax:03-3368-2822 Email : secretariat@jsise.org



事務局より



会員専用ページのご案内

URL : <https://bunken.org/jsise/mypage/Login>

※会員専用ページの URL は、会員情報管理システムの業務委託をしております株式会社国際文献社のものになります。

■会員専用ページでは、以下のことが可能になります。

1. 会員個人ページでの、現在の登録情報の確認・変更
2. 年会費納入状況の確認
3. 会費の納入、クレジット/コンビニ決済
4. パスワードの変更

会員種別、フリガナ、研究報告年間購読の登録等はマイページでは変更できませんので、お手数ですが JSiSE 事務局会員窓口 (secretariat@jsise.org) までご連絡をお願い致します。

ログインには、名簿システム (2015 年 1 月にログイン) でご利用いただいた ID とパスワードが必要となります。

パスワードをお忘れになった場合は、上記ウェブサイトにて照会できます。何かご不明な点がございましたら、JSiSE 事務局会員窓口 (secretariat@jsise.org) までご連絡ください。

今後とも教育システム情報学会の活動にご理解ご協力のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。



学会誌・研究会報告のバックナンバーのお求めは

(株)毎日学術フォーラムまでお申し込みください。

株式会社 毎日学術フォーラム

〒100-0003 東京都千代田区一ツ橋 1-1-1 パレスサイドビル 2 階

TEL : 03-6267-4550 / FAX : 03-6267-4555

Mail : maf-sales@mycom.co.jp / URL : <http://maf.mycom.co.jp>

■JSiSE 会員の方で「研究報告」の年間購読をご希望の方は、事務局分室までご連絡ください。

この機会にぜひ年間購読されますようおすすめいたします。

■年間購読料 4,000 円 / 年 6 回発行 <送料込>

新入会員のご紹介

下記の皆様が新しくご入会されました。 2016 年 5 月 28 日～2016 年 7 月 20 日

氏名	会員種別
秋葉 治克	正会員
落合 俊郎	正会員
崎田 千夏	賛助会員からの正会員
丸山 浩平	学生会員
山崎 大助	正会員
大城 正典	正会員
廣瀬 一海	学生会員
山本 樹	正会員（購読）
伊藤 明裕	学生会員
天良 和男	正会員

氏名	会員種別
川田 拓	学生会員
三輪 穂乃美	学生会員
石野 邦仁子	正会員
手塚 祐樹	学生会員
田和辻 可昌	学生会員
川角 昌弥	正会員
鎌田 正浩	正会員（購読）
吉根 勝美	正会員
五味 悠一郎	正会員（購読）
株式会社クリプトン	賛助会員

入会のご案内

入会をご希望の方は、下記のサイトよりオンライン入会申込フォームにアクセスしていただき、お申し込みをお願いいたします。後日、事務局から入会金や年会費のお支払い方法などをメールにてご案内いたします。教育分野における情報通信技術の利用に関する学術研究に興味のあるお知り合いの方がおられましたら、是非ご紹介をいただきますようお願い申し上げます。

URL : <http://www.jsise.org/admission/index.html>

☆キャンペーン☆

※現在、本学会開催の研究会等で、会場にて新規お申し込みいただいた方には、
入会金を無料にさせて頂くというキャンペーンを行っております。
 そちらも、合わせてご案内いただきますようお願いいたします。